

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和04年03月16日

計画の名称	白河市宅地耐震化推進事業（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度～令和02年度（1年間）									重点配分対象の該当	○			
交付対象	白河市													
計画の目標	本計画は、行政区域面積が305.32km2ある白河市において、大地震時に災害の発生の恐れが大きい大規模盛土造成地の変動・被災状況を把握するために、国土交通省「大規模盛土造成地の滑動崩落対策推進ガイドライン」を基本に、白河市内における大規模盛土造成地の調査を実施するものであり、大規模盛土造成地の位置等の公表により、住民の住宅災害に対する関心を高め、早期の変状把握、早期対策等による被害の防止・軽減につなげることを目的とする。													
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		16	A	16	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(R2当初)		(R2末)
1	第二次スクリーニング計画を作成・公表し、そこに居住する地域住民の関心を高める。 対象地域の世帯に対する周知度 対象地域の世帯に対して、チラシ等を配布し、関心を高め周知度を100%にする。	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	白河市	直接	白河市	-	-	白河市宅地耐震化推進事業	第二次スクリーニング計画の策定	白河市	■					16		-	
												小計						16		
																		16		

事後評価

○ 事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
白河市建設部都市計画課において事業実施状況に基づき事後評価を実施	令和4年3月
	公表の方法
	白河市ホームページで公表

○ 事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	大規模盛土造成地について、対象地の変動予測調査を実施し、地域住民へ情報提供を図ることで、宅地災害に対する関心及び防災意識を高める効果が得られた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	

○ 特記事項（今後の方針等）

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	対象地域の住民周知度		
	最 終 目標値	100%	
	最 終 実績値	100%	